

2022年度 関東学生柔道優勝大会  
新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

本連盟主催大会については、(公財)全日本柔道連盟「**新型コロナウイルス感染症への対応について**」および「**柔道練習・試合再開の指針 (Version5.1) 20220303**」および(一社)全日本学生柔道連盟「**新型コロナウイルス感染防止ガイドライン**」の方針に準拠し、そこに連盟独自のガイドラインを策定し開催します。各大学においては必ず各方針に記載されている事項を遵守してください。

1. 大会開催時の主催者による全般的な感染防止策

- 1) 本大会は、全日本柔道連盟の感染防止方針に準拠して開催する。
- 2) 施設管理者と施設利用の方法について事前に十分な打ち合わせを行い、必要な措置を講じる。
- 3) 大会は無観客とし、大会会場に入場できるのは参加者(選手・主務・役員・係員・審判員・引率者及び監督)のみとする。
- 4) 参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し周知するとともに、会場内の適切な場所に掲示する。
- 5) 会場内の移動については、その経路を定め参加者に徹底させる。特に試合終了者が会場内に留まったり、指定場所以外で滞留したりしないよう注意徹底する。
- 6) 大会期間中、定期的に会場内を巡回し、各事項がしっかりと守られているか確認する。

2. 参加募集時の留意事項

- 1) 参加者に遵守すべき事項を明確にして協力を求める。また、遵守できない参加者には大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりする必要があることを事前に周知する。
- 2) 参加者は感染予防対策のため、マスクの着用、マイタオルの使用を心掛け、主催者より指示がない場合でも、「3密を避ける」「大声での発声をしない」等、自主的な予防も行うことを事前に周知する。

3. 参加申込み時の留意事項

- 1) 参加申込みを行う大学代表者は、別紙の
  - ①参加確認書
  - ②健康記録表(健康チェックシート)を記載し、開催1週間前から全参加者の健康チェックを実施した上で、大会当日に提出をしなければならない。  
\*出場選手に係わらず、所属選手全員の健康記録・管理は柔道部活動においても必要な事項であるため、当該期間中は全員分の記録を義務とする。
- 2) 上記とは別に、参加者(並びに補欠【補欠選手を予め決定しておく】)個人は
  - ③大会1週間前からの、Google フォームによる健康状態の報告
  - ④厚生労働省 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)への登録を行う。特に③においては、当該期間中に2回以上報告を怠った場合は、本大会への参加を認めないものとする。

3) 選手変更について

大会 1 週間前までの選手変更については、各大会要項のとおりの手順で認めることとする、なお以降（大会当日を起算日とした 1 週間前）は、ゾーニング等の練習環境や各自の生活環境等を確認し、極力大会に参加できるよう、細かい規定を設けて対応する。

#### 4) 代表者会議等について

大会要項のとおり、対面・オンラインのいずれでも参加可能とする。特に代表者会議については、事前に資料を郵送するなどして、オンラインでの参加を基本とする。

#### 5) 来場の交通手段（要望）

大会会場への来場は、公共交通機関をできるだけ使わないように配慮をいただければ幸いである。但し、各所属大学において、交通事故防止の観点から、自家用車等での試合・合宿への移動が禁止されている大学等についてはその限りではない。

### 4. 当日の参加受付時の留意事項

#### 1) 受付場所は、

①1 階：理事・役員、外部委嘱審判員のみ

②2 階：①以外の参加者（選手・主務・引率者・係員・帯同審判員および付き人）なお②については主務を先頭とし、3-1) の用紙を全員分提出し、検温の後に入場する。また入場の際に、代表者会議にて配布する「入場許可証」を提示すること。

引率者や帯同審判員が選手等と同時入場しない場合、全大学の受付が完了してから入場すること。また入場した者が会場外に出た場合、特別な理由がない限り、開会式開始までの再入場は認めない。

2) 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける。

3) 受付付近等の混雑するような場所では、ソーシャルディスタンス（おおむね 1 m から 2 m）の確保に努める。

4) 受付を担当する役員・係員には、マスクおよびフェイスガードを着用する。

5) サーマルカメラにて 37.0℃以上を検知した場合、非接触型体温計で再検査を行う。そこでも 37.0℃を超えていた場合、入場はできない。（選手の場合は出場不可となる。）

### 5. 大会主催者が留意すべき事項

#### 1) 会場入り口・受付

①手指消毒液の設置。

②「常に一定の間隔を保ちましょう」等の掲示。

#### 2) 洗面所

①手洗い場に石鹸（ポンプ型が望ましい）の設置。

②「手洗いはハンドソープで念入りに」等の掲示。

③参加者にマイタオルの使用を求める

#### 3) 更衣室

① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。

②複数の参加者が触れると考えられる場所は、こまめに消毒する。

③換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

④「3密を避けましょう」等の掲示。

#### 4) 競技会場

①定期的に窓を開放し、十分な換気を行なう。

- ②畳の消毒は2試合毎に実施する。
- ③試合会場に降りることのできる人数を制限する。
- ④複数の参加者が触れると考えられる場所は、こまめに消毒する。
- ⑤「人との距離を保ちましょう」等の掲示。

#### 5) 会場の清掃

- ①会場の清掃や消毒方法については施設管理者の指示に従う。
- ②参加者のゴミは持ち帰りとする。
- ③借用した物品の消毒等は施設管理者の指示に従う。
- ④清掃やゴミの処理後は必ず手洗い、手指消毒をする。

#### 6) 待機場所 (2階観覧席)

- ①各大学は、指定された待機場所以外での滞留を禁止する。
- ②2階通路や1階ロビー等の共用スペースでの滞留を禁止する。

#### 7) 運営

- ①開・閉会式は密になることを避け、表彰者の間隔を十分に空ける。  
開会式を実施する場合、指定された人数(最大7名)のみが参加し、閉会式は3位入賞者までがマスクを着用し整列する。
- ②試合が終了した者は、速やかに会場内から退出し更衣を済ませた後に、指定待機場所で待機する。

### 6. 参加者が留意する事項

- 1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
  - ①体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ②同居家族等、周囲に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
  - ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 2) 試合を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること。
- 3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。
- 5) 会場で大きな声を出さないこと。(声を出しての応援の禁止)
- 6) 感染防止のために主催者が定めた事項を遵守すること。
- 7) 飲食は指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話も控えめにすること。
- 8) 観客席での観客間は1~2m距離を取ること。
- 9) 大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。  
**特に各大学の指導者については、所属大学の参加者について管理徹底すること。**

### 7. 試合を行う際の留意点

- 1) 試合者への指示、指導は禁止。(退場が命じられる場合もある)
- 2) 競技中のマスクの着用は不要である。
- 3) 試合で使用する紅白帯は使い回しを避けるため、必ず各大学で出場者分の数を準備する。(主催者は用意をしない)

### 8. 大会期間中(経過観察1週間を含む)の体調不良者の対応について

- 1) 大会期間中に新型コロナウイルスの可能性を含む体調不良者が確認された場合、対象者が学生の場合は、各大学の引率者が、それ以外は大会事務

- 局で医療機関への搬送を行う。診断の結果、新型コロナウイルス感染が疑われる場合は速やかに保健所等に報告し、指示に従い適切に対応する。
- 2) 大会終了後 1 週間の経過観察中に、新型コロナウイルス感染が疑われる場合、各大学の指導者は大会事務局及び最寄りの保健所等に速やかに報告し、指示に従い適切に対応する。

#### 8. PCR 検査について

2022 年度大会においては、参加者の全件検査は実施しない。ただし発熱等の体調不良者がいる場合は、各所属において PCR 検査を実施し、その結果を連盟事務局に報告する。なお今後の感染状況により、検査を実施する場合がある。

以 上